

闘う労働組合を日比谷野音に

11・1まで残り7週間 組織化に全力を

ポスター&若者向けチラシ 鋭意作成中

「11・1全国労働者集会&改憲阻止1万人行進」まで残り7週間となりました。すでにチラシについてはお手元に届いていると思いますが、ポスター版(普通の商業新聞の大きさ)の宣伝紙についても間もなく全国に発送します。しばらくお待ち下さい。

ポスターや若者向けのチラシも準備中です。完成次第すぐ配布いたしますのでよろしくお願ひします。安倍政権が退陣を表明しました。

新型コロナウイルス情勢は、新自由主義と安倍政権の危機と矛盾を容赦なく暴き出しました。誰が政権を継承しようとするかは何一つ解決しません。労働者の闘いが必要です。雇用や社会保障を破壊し、改憲と戦争に突き進み、労働運動や報道、人びとの権利を破壊する一方的な階級戦争に対して、労働者の闘いこそが対置されなければなりません。

数十年に及ぶ新自由主義の大洪水に対して、関西生コン労組や港合同、

動労千葉は果敢に闘い抜いてきました。新自由主義に対抗する労働運動をつくりだすことは現実にも可能であることを示しています。

1980年代に3K赤字(国鉄・コメ・健康保険)問題を焦点に登場した第2臨調以来、「医療費」国論が唱えられ、医療費削減と民営化・競争原理の攻撃が続いてきました。近年、団塊世代が後期高齢者となる2025年を前にして医療提供体制の危機が唱えられ、2012年頃か

ら医療・福祉関連の法改悪が相次ぎ、暴力的な病床削減や公的病院の統廃合などが進められ、医療・介護体制はきわめて危機的な状況になっていました。ここを新型コロナウイルスが襲ったのです。「医療を社会保障として取り戻す」と訴えた病院労組のストライキは問題の根本と闘いの展望がどこにあるのかを示しました。

教育、自治体、郵政、JR:あらゆる産別で労働者の闘いが求められています。労働者の実力闘争こそが状況を転換させます。3労組をはじめ闘う労働運動の再生の努力と、その展望は十分にあることを全国の労働者に伝え、11・1日比谷野音に参加することを訴えよう。

闘う労働組合の再生をめざす
2020年
11・1
全国労働者集会・改憲阻止! 1万人行進
in 日比谷野音
東京-ソウル国際共同行動

日時: 11月1日(日) 正午開始(開場時)
会場: 国鉄1047名解雇撤回! 東京・日比谷野外音楽堂

【コロナ対策】
「国鉄1047名解雇撤回!」の抗議活動は、労働組合を許すぞ! 闘う労働組合の全国ネットワークを

呼びかけ団体等のアピール
労働組合の弾圧を粉砕し闘争を闘う
関西生コン労組の弾圧を粉砕し闘争を闘う
闘う労働組合の全国ネットワークを
闘う労働組合の全国ネットワークを
闘う労働組合の全国ネットワークを

JR東「1000億円コストカット」=大リストラを許すな!
新自由主義に職場からストライキで反撃に立とう